



但馬水産技術センターだより



漁況情報 (G2426号)

令和6年8月27日

兵庫県立農林水産技術総合センター
但馬水産技術センター 発行

ハタハタ・アカガレイ等に関する情報について (令和6年度底びき漁期前調査結果)

令和6年8月5～6日に但馬沖水深180～350mで、同20～22日に大山沖～隠岐北方水深180～240mで、漁業調査船「たじま」によりトロール網試験操業を実施しました。(図1、表1)。結果の概要は以下の通りです。

1. ハタハタ

- ・大山(青谷)沖水深240・210・190m、隠岐東方水深210mで、概ね30kg/網以上の入網がありましたが、他は低調でした。(表1、図2)
- ・全エリアの水深240m以浅平均入網重量は15.3kg/網で、前年(7.3kg/網)を上回り4年ぶりの増加となりましたが、過去10年平均(34.4kg/網)は下回っており、急減が始まった2021年並みの水準でした。(図3)。
- ・漁獲物サイズは体長16cmを中心に概ね12～20cmの範囲にありました。年齢組成は2歳魚(16cm前後、2022年級)が主体で、隠岐東方等では1歳魚(13cm前後)が、(但馬沖の水深240m以深では)3歳魚(18cm前後)も混ざりました(図4)。

【秋漁の見通し】

- ・漁場は大山(青谷)沖から隠岐東方を中心に形成されるでしょう。
- ・漁獲物は2歳魚(中型)主体で、1歳(小型)がこれに続き、3歳魚(大型)はわずかでしょう。
- ・9～10月漁獲量は前年を上回る可能性があるでしょう(図5)。(ただし狙い操業の影響を受ける)

2. アカガレイ

- ・但馬沖では水深270～350mで約30kg/網の入網がありましたが(表1、図6、図8)、水深300m操業点での平均入網量は31.6kg/網で、前年(42.9kg/網)を下回りました。
- ・今年の但馬沖～大山沖の平均入網重量は13.7kg/網で、前年(14.5kg/網)および過去10年平均(24.1kg/網)を下回りました。(図7)

【秋漁の見通し】

- ・漁場は但馬沖の水深300m以深を中心に形成されるでしょう。
- ・水深300m以深における漁期当初の現存量は前年を下回るとみられ、9月の漁獲量も前年を下回る可能性が高いでしょう。

3. その他の情報

- ・全域で大型クラゲの入網が予想されます。(詳細は前号(G2425号)参照)また、表面水温が30℃を超える海域が見られました。いずれも漁獲物の鮮度保持に悪影響がありますのでご注意ください。
- ・海底水温は全点5℃以下と近年では低めでした。
- ・ハタハタの資源回復のために、小型魚を狙った操業は控えましょう。
- ・ズワイガニ(ニ皮がに・アカコ等)が多く分布する海域があり、特に脱皮直後の大型のかには混獲に弱いので混獲回避が極めて重要です。入網海域では操業を控えたり、混獲回避漁具や吊り岩等を有効活用し、ズワイガニを1匹でも多く生かしましょう。
- ・今期もホッコクアカエビに操業が集中する可能性があります。稚エビが多く入網するエリアは避けるなど、貴重な資源を少しでも長く利用できるよう努めましょう。

お問い合わせ先：兵庫県但馬水産技術センター(担当：大谷・田村・岸本)

TEL：0796-36-0395 FAX：0796-36-3684 email：nourinc_tajima@pref.hyogo.lg.jp

ホームページ：https://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm



令和6年度底びき漁期前調査結果 資料

1)調査の目的

底びき解禁前のハタハタ、アカガレイ、大型クラゲ等の分布、体長組成等に関し、情報の収集と提供を行う。

2)調査日時

令和6年8月5～6日(但馬沖)

令和6年8月20～22日(大山沖～隠岐北方)

3)調査海域

但馬沖:水深 180～350m海域

大山沖～隠岐北方:水深 180～240m海域(図1参照)

4)使用船舶

兵庫県 漁業調査船「たじま」(199トン)

5)調査内容

①トロール試験操業

図1に示した計18点において、底びき試験操業を実施。
使用漁具:着底トロール網、袋網16節、平均袖先間隔27m、網口高さ2.4m、曳網方法:3knot、30分(約1.5マイル)曳き。

②海洋観測

定点におけるASTDIによる海底までの水温、塩分観測と、網に取り付けたセンサーによる海底水温の計測を実施。

③魚探反応の収録

トロール曳網時の魚探反応を収録。

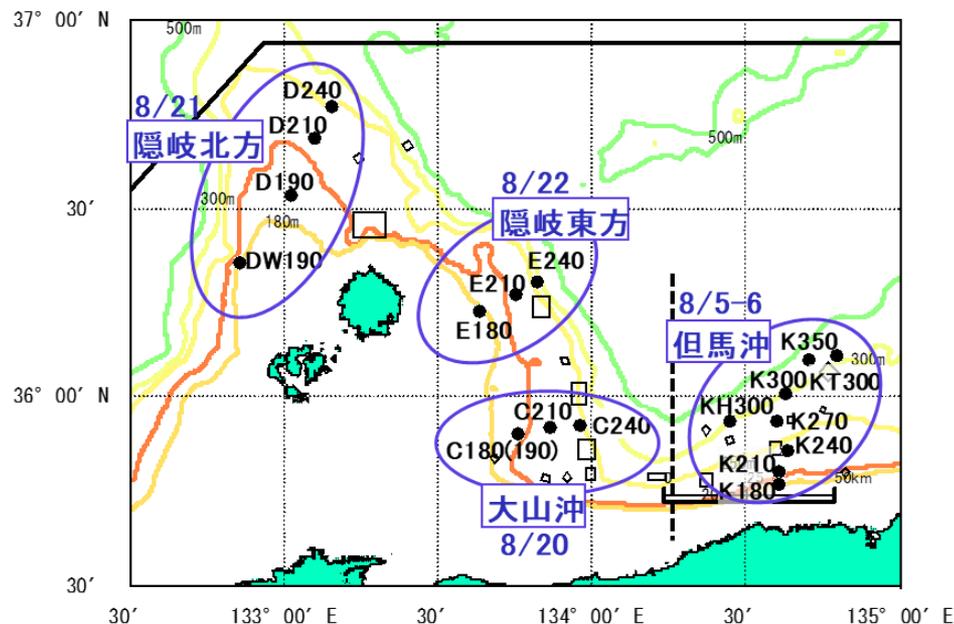


図1 調査海域図

表1 定点別魚種別入網状況(2024年)

月日	曳網開始時刻	エリア	操業点番号	平均曳網水深	海区番号	表面水温(°C)	海底平均水温(°C)	魚種別入網重量(kg)							
								ハタハタ	アカガレイ(マガレイ)	ソウハチ(イテ)	ヒレグロ(ヤマ)	ハイ類	エビ類	スルメイカ	大型クラゲ
8/6	7:13	但馬沖	K350	349	8086	28.9	0.6	0.8	38.3	0.0	1.0	1.3	6.9	0.4	160
"	5:29		KT300	312	"	29.1	1.2	0.2	26.9	0.0	0.1	2.7	4.0	0.2	230
"	9:07		K300	303	8089	29.2	0.7	1.2	38.9	0.0	0.0	1.2	1.8	0.9	140
8/5	17:50		KH300	306	8191	29.4	1.1	0.2	28.9	0.3	0.0	3.7	5.4	0.4	325
"	15:36		K270	272	8097	29.9	1.3	0.5	29.5	0.0	0.7	4.5	2.2	0.9	210
"	13:40		K240	236	"	30.0	2.0	6.3	14.2	0.7	4.8	49.2	0.6	5.5	160
"	12:03		K210	211	8098	30.9	2.5	2.3	3.8	0.1	0.3	25.4	0.2	4.1	245
"	10:30		K180	184	"	30.2	4.3	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.9	232
8/20	12:49	大山沖	C240	239	8291	29.6	2.5	71.2	20.0	6.2	2.2	13.7	0.5	1.3	295
"	14:39		C210	209	"	30.1	2.8	45.8	3.5	5.2	1.0	18.4	0.4	1.1	260
"	16:31		C180(190)	192	8294	29.7	2.8	29.6	0.1	2.0	0.8	14.6	0.1	0.8	90
8/22	9:51	隠岐東方	E240	244	8285	29.3	1.8	7.7	7.0	12.4	4.0	28.4	0.3	0.2	250
"	8:14		E210	210	"	29.2	2.8	56.2	3.3	0.6	0.9	14.6	0.5	0.1	160
"	6:29		E180	186	8288	29.0	4.3	21.1	0.0	0.5	0.8	2.0	0.0	2.0	185
8/21	13:04	隠岐北方	D240	237	8378	28.9	1.6	1.1	0.1	0.3	2.9	1.9	0.0	0.5	105
"	10:56		D210	207	"	29.4	1.9	2.9	4.1	0.0	20.1	11.4	0.0	0.0	310
"	8:59		D190	189	8379	29.5	2.7	3.0	3.9	1.9	17.7	7.5	0.0	0.7	295
"	6:40		DW190	186	8481	30.0	3.1	8.8	0.1	0.3	0.5	9.5	0.0	7.2	165

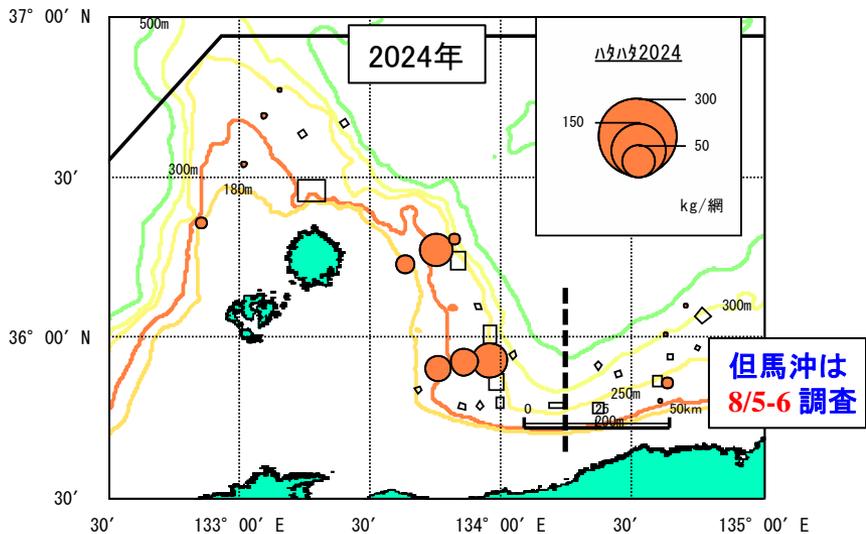


図2 ハタハタ入網重量の分布(kg/網)

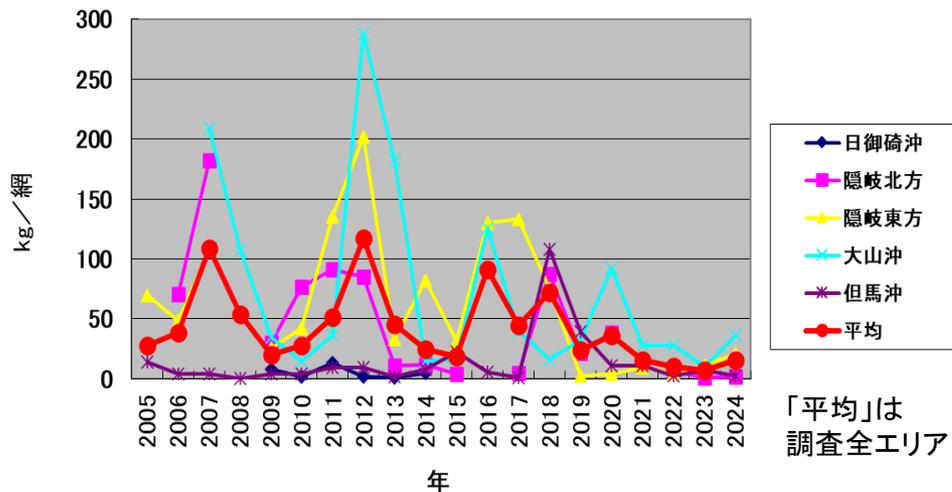


図3 エリア別 1 曳網当たりハタハタ入網重量 (180-240m定点、袖先間隔で補正)

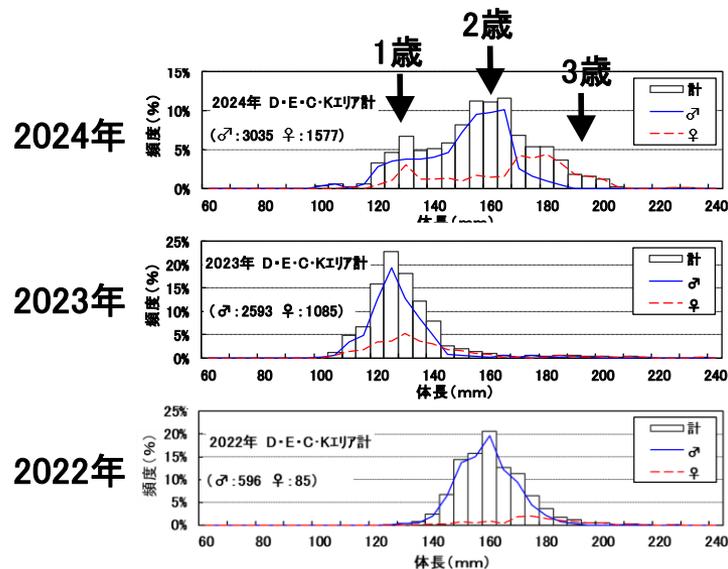


図4 近年のハタハタ体長組成 (隠岐北方～但馬沖)

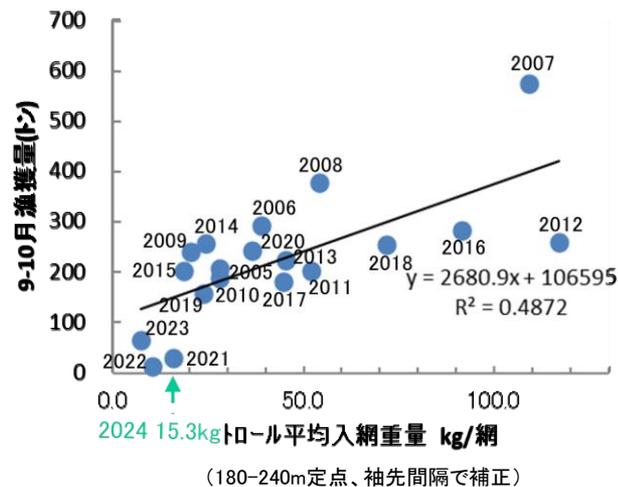


図5 調査1 曳網あたり入網重量と 9～10月のハタハタ漁獲量の関係 「平均入網重量」はデータのある全エリア平均

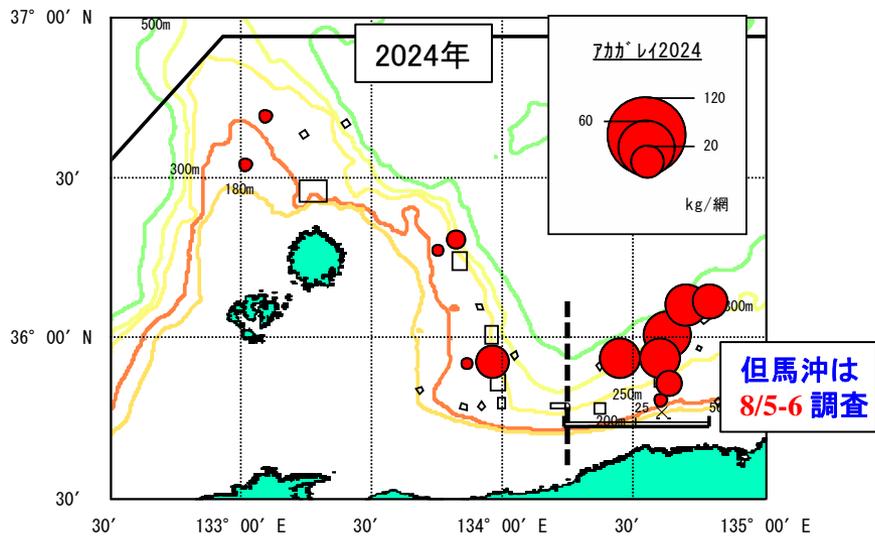


図6 アカガレイ入網重量の分布 (kg/網)

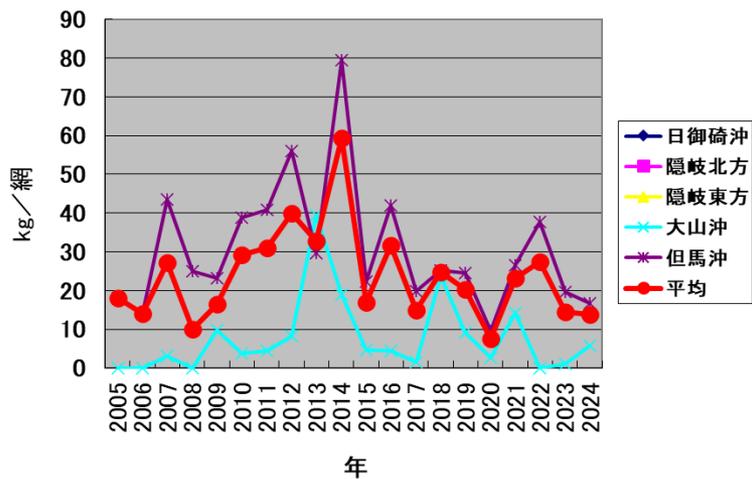


図7 エリア別 1 曳網当たりアカガレイ入網重量

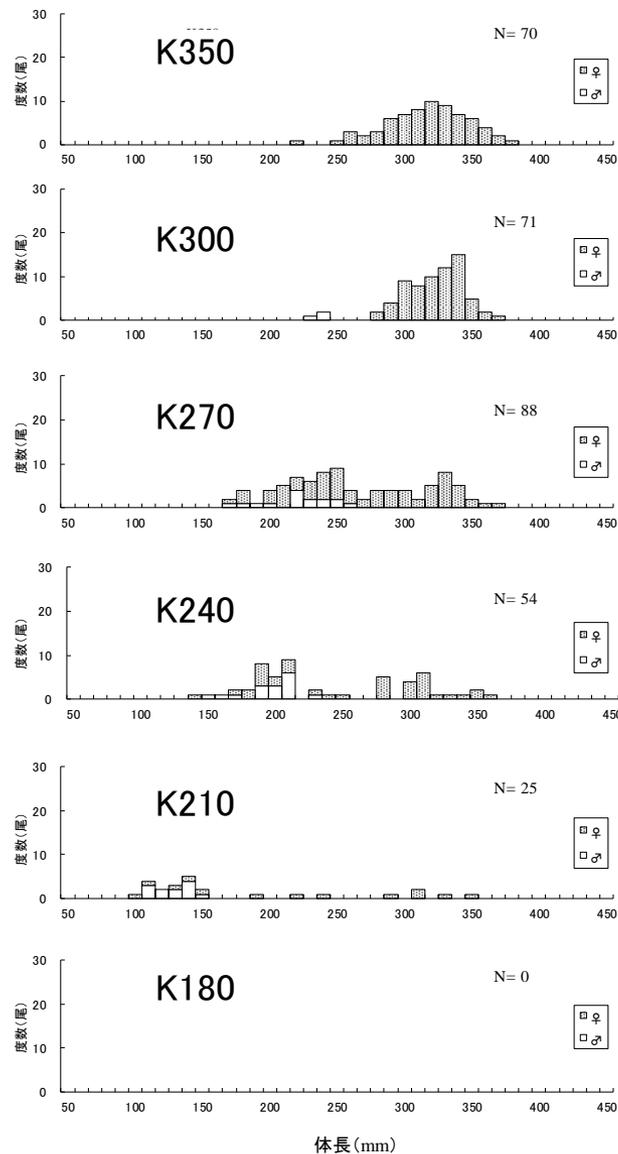


図8 定点別アカガレイ体長組成(香住沖)

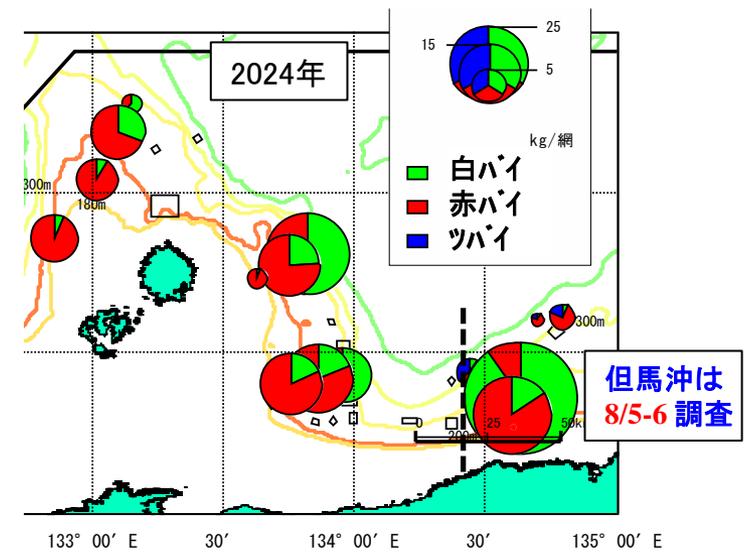
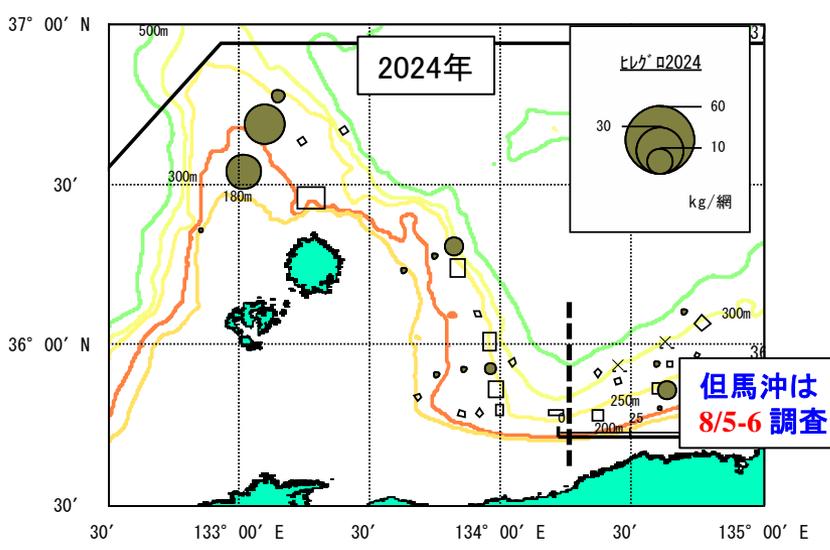
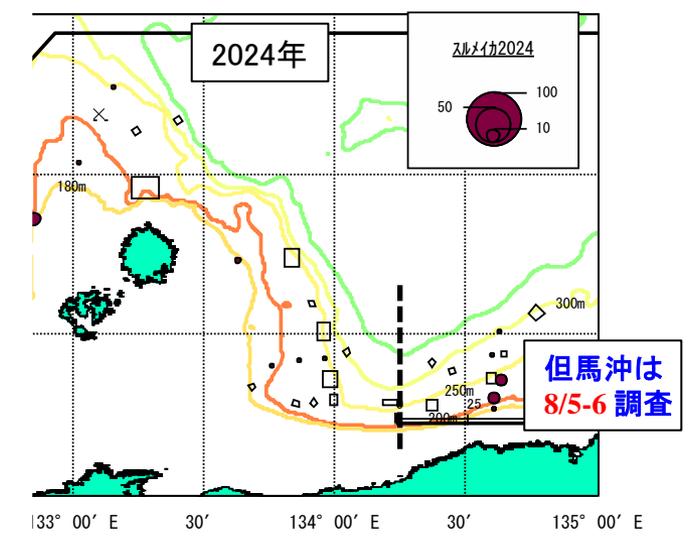
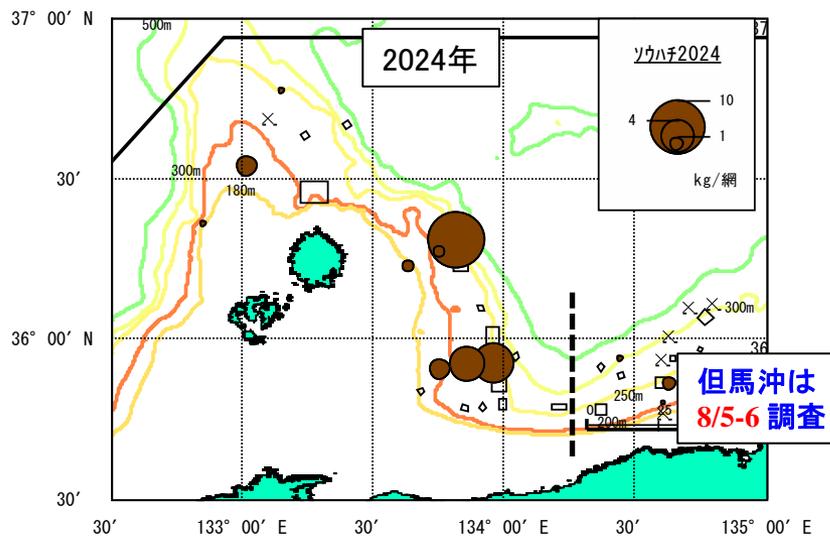


図9 その他主要魚種の入網重量の分布 (kg/網)